



一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会 会報

静臨技ニュース

第 434 号

発行所／(一社)静臨技渉外広報部 〒422-8062 静岡市駿河区稲川 1-1-15 ヴィラセーユー稲川 207

TEL.054(287)6337 FAX.054(287)4113

発行者／羽切 政仁 編集責任者／高橋 詩帆 発行日／2026年5月1日

5月号の内容



- ◆ 新年度を迎えて P1
- ◆ 令和8年度定時総会及び第13回静岡県医学検査学会のお知らせ P2-3
- ◆ 肝炎医療コーディネーターについて P4-5
- ◆ 会員投稿 P6
- ◆ 臨床検査関連研修会 P7-10
- ◆ 行事予定 P11

新年度を迎えて

新年度を迎え一ヶ月が過ぎ、如何お過ごしでしょうか。新入会された会員の皆様、これからよろしくお願ひします。今月は静岡県臨床衛生検査技師会の紹介を致します。

技師会に加入するメリットとして、ガイドラインや医療情報などの最新情報の入手、スキルアップとして各部門の研修会や講習会への会員価格での参加、年代や施設を越えた技師同士のネットワーク構築などがあげられます。本技師会は、県内を「東部・中部・西部」の3地区に分け、各支部より、理事に推薦または立候補した会員が総会にて承認された後、役員として運営・活動しています。

本会は1)事務局 2)会計部 3)学術部 4)組織調査部 5)渉外広報部の部局から構成されており、令和6・7年度は会長はじめ、18名の理事および2名の監事で運営・活動して参りました。

今年度は、役員改定の年度となります。2026年6月13日に開催される定時総会にて承認された後、新役員での活動となります。円滑な運営、迅速な情報提供できるように励んで参ります。会員の皆様には、部門研修会や講習会、また各イベント等でご協力をお願いすることがあるかと思いますがどうぞ宜しくお願い致します。



静臨技ホームページ URL : <https://www.samt.or.jp/>

令和 8 年度定時総会及び

第 13 回静岡県医学検査学会のお知らせ

令和 8 年 6 月 13 日（土）に令和 8 年度定時総会及び第 13 回静岡県医学検査学会を開催します。同日の AM に定時総会：Web ライブ開催（Cisco Webex）、PM から県学会：あざれあ大ホールでの現地開催にて一般演題 19 題の発表になります。

学会のテーマは『学びを力に、力を自信に！』となっております。今年度はコロナ禍以降、初の完全現地開催です。意見交換会も企画しており、多くの皆様の参加をお願いします。

参加申し込みは「事前参加申込」のみとなっております、5 月 1 日から 31 日までに Web 総会は日臨技 HP 会員専用ページより事前参加登録、学会・意見交換会は開催案内からメネルジアの申し込みサイトへ移行し事前参加をお願いします。

Web 総会：日臨技 HP 会員専用ページより事前参加登録を行ってください。

（参加費は無料）

学 会： <https://event.menergia.jp/events/01KPMM2SG51PWMY0V94VRXZGX1>

意見交換会： <https://event.menergia.jp/events/01KPMM4TGJ488NW6Q5AQCFPMTB>

開催概要

《第 I 群》13 時 10 分～14 時 10 分

1. 健診の検査結果から臨床検査技師が積極的に介入した
悪性リンパ腫の一例 河合 永遠
2. スキャッタグラムから不安定ヘモグロビン症が疑われた
1 症例 足達 咲紀
3. 棘状赤血球の出現を契機として PKLR 遺伝子解析により診断された
ピルビン酸キナーゼ欠乏症の一例 鈴木 聖矢
4. 形質細胞が増加し診断に苦慮した再生不良性貧血の 1 症例 大竹 裕次
5. 細胞形態の鑑別が困難であった CD5 陽性びまん性大細胞型
B 細胞リンパ腫の 1 症例 谷内 文太
6. 芽球が混合表現型の形質を示し、急性転化した CML の一例 中村 祐也

《第Ⅱ群》14時15分～15時25分

- | | |
|--|--------|
| 7. 血清フェリチンにおける試薬検討 | 加藤 祐樹 |
| 8. 半年間 NST へ参加し得られたこと | 村上 ゆうな |
| 9. 臨床検査と治験事業をつなぐ臨床検査技師の役割 | 佐藤 圭 |
| 10. 新人教育の最適化を目指した取り組みー評価記録の改定・改善活動とその効果ー | 伊藤 結衣 |
| 11. 赤血球製剤の在庫管理における ARMA モデルの有用性 | 永澤 昌大 |
| 12. 細菌同定・薬剤感受性検査装置新規導入における今後の運用可能性 | 後藤 敦也 |
| 13. お好み焼き粉から発生したダニによるアレルギーの1例 | 熊谷 慧人 |

《第Ⅲ群》15時30分～16時30分

- | | |
|--|--------|
| 14. 超音波診断装置を用いた筋硬度測定における技師間差是正への取り組み | 石黒 愛 |
| 15. 当院における安静時12誘導心電図の内部精度管理について | 野澤 つぐみ |
| 16. 当院の心肺運動負荷試験(CPX)における臨床検査技師の関わり | 澤山 来奈 |
| 17. ラズベリー様腺窩上皮型胃腺腫の一症例 | 永田 璃功 |
| 18. メイ・グリュンワルドギムザ染色の内部精度管理の取り組み ～旧法と新法における同一検体の比較～ | 大石 将也 |
| 19. 腎生検における当院の臨床検査技師の取り組みとその重要性 | 安立 裕貴 |

共催セミナー

16時35分～17時35分

肝炎医療コーディネーターについて

臨床検査技師/肝炎医療コーディネーターの取り組み紹介

先月号では肝炎総合対策の推進について紹介を行い、肝炎ウイルス検査の結果を一番先に確認する臨床検査

技師である私たちに何が出来るのか？考えるきっかけとして掲載をしました。

今回はその続きとして、関連する情報として、厚労省からの通知と共に、静岡県のホームページに掲載されている、検査技師/肝炎医療コーディネーターの具体的な取り組み例について紹介をします。

① 手術前等に行われる肝炎ウイルス検査の結果を踏まえた

受診・受療・フォローアップの推進等の医療機関管理者への協力依頼（以下2点、通知文から抜粋し紹介）

厚生労働省健康局がん・疾病対策課長：健が発0309第1号 令和5年3月9日

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/001090337.pdf>

◆ “肝炎医療を専門とする医療機関や**肝炎医療に関する業務に携わる者のみならず、それぞれの医療機関及びその管理者が肝炎対策の重要性を認識し取り組みを強化すること**”

◆ “手術前等に行われる肝炎ウイルス検査の結果を、受検者自身が正しく認識できるよう、改めて、医療提供者において適切に説明を行うとともに、陽性者については確実に必要な精密検査、治療及びフォローアップへとつながるよう、**管理者の下、医療の安全を確保するための措置の一環として対策を講じる**”

② 静岡県ホームページ掲載：肝炎医療コーディネーターについて(県内コーディネーター活動実績)

https://www.pref.shizuoka.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/024/248/katsudouhoukou.pdf

私たち、臨床検査技師/肝炎医療コーディネーターに関する内容を抜粋し以下に紹介します。

肝炎医療コーディネーターの資格受講に興味のある方は県ホームページ等にてご確認ください。

静岡県 肝炎医療コーディネーターの 活動について

静岡県庁健康福祉部
感染症対策課感染症対策班

令和3年12月1日作成



肝炎医療コーディネーターは

- ・病院、診療所
- ・市町村
- ・保健所
- ・職域(健康保険組合等)



様々なところに配置されています。
職種も看護師、栄養士、臨床検査技師等様々です。

抜粋：臨床検査技師/肝炎医療コーディネーターの活動例について

肝炎ウイルス検査の結果を一番先に確認する臨床検査技師である私たちに何が出来るのか？考えるきっかけとなりましたら幸いです。

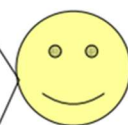
- ・ C型肝炎ウイルス抗体陽性、HCV-RNA検査実施者 **リストの作成・更新**を2～3日に1回行う。
- ・ C型肝炎ウイルス抗体初回陽性者の主治医への **連続カルテ記載**がなされているか **確認**
- ・ C型肝炎ウイルス陽性者の **既往歴・受診状況・HCV-RNA結果の有無の確認**
- ・ **HCV 7以上**の患者で **HCV-RNA未実施**の時、主治医に **検査を考慮**していただく。
- ・ 本人または家族に **検査結果**が伝わっているか **確認**する。
- ・ 肝疾患診療連携拠点病院より配布していただいた **肝臓週間啓発資材**及び **チラシ**を正面玄関や採血室で **配布**



病院
臨床検査
技師

～大きく2点実施～

- 1.患者への検査・治療に関する **制度説明**
- 2.院内における肝炎ウイルス陽性患者フォローアップ体制への関与
 - ①検査課が、定期的に新規肝炎ウイルス **陽性患者**を **リストアップ**
 - ②肝炎医療コーディネーターが、リストから、既にフォローアップされている患者を除外フォローアップされていない可能性のある患者を抽出
 - ③肝炎医療コーディネーターが、②で抽出された患者について、主治医及び外来(入院中の場合は病棟)に対し、**患者への意向確認**(専門医への紹介希望の有無・既に他院で治療中・二次検査を希望しない等)を依頼する。
 - ④医師・看護師が、患者に対し、**治療希望の有無について意向確認**し、結果をカルテに反映する。
 - ⑤肝炎医療コーディネーターが、**患者への意向確認の有無を、適宜カルテで確認**する。専門医への紹介を希望された場合は、その手続きが完了しているかどうかも確認する。
患者への意向確認がなかなかされない場合には、再度主治医及び外来(入院の場合は病棟)に依頼する。



病院一同

- ①B型肝炎抗原検査(HB s Ag)②C型肝炎抗体検査(HCVAb)のどちらか、あるいは両方が陽性となった患者(過去歴、治療歴、治療継続中等ない者)の検査依頼医に対し、**消化器内科への受診を促す**。
同時に、消化器科肝炎担当医師、消化器科肝炎医療コーディネーター看護師にも **情報共有**している。



病院
臨床検査
技師

これからの働き方と、自分らしい時間

富士市立中央病院 匿名希望

この3月をもって、管理職としての任務を終えました。振り返れば、目の前の業務や責任に向き合う日々で、「自分自身のこれから」についてゆっくり考える時間はあまり持てていなかったように思います。一区切りを迎えた今、いわゆる“第二の人生”という言葉も、少し現実味をもって考えるようになりまして。これからどのように働き、どのように日々を過ごしていくのか。これまでとは違った視点で、自分自身の在り方を見つめ直しているところです。

一方で、今年に入ってから転倒や肺炎を経験し、体調面への意識も大きく変わりました。これまでは多少の無理も「なんとかなる」と思っていました。年齢とともに身体は確実に変化していることを実感しています。健康であることが、仕事にも趣味にもすべてにつながっている……そんな当たり前のことを、改めて強く感じています。

だからこそこれからは、「やりたいことを後回しにしない」ことも大切にしたいと思っています。もともと大きな趣味があるわけではありませんが、好きなことのひとつがライブに行くことです。今年の春は、YOASOBIやONE OK ROCKの公演に足を運びました。会場の一体感や音楽の力に触れる時間は、日常を離れて心をリフレッシュさせてくれる大切なひとときです。

今後もback numberや小泉今日子、そして嵐などのライブを楽しみに、すでに予定を立てています。こうした「楽しみ」があることで、日々の生活にも張り合いが生まれるように感じています。

また、若い頃のように旅行にも積極的に出かけたいと考えています。そのためにもまずは体力づくりから。健康を意識しながら、これまで行ったことのない場所に足を運び、新しい景色や文化に触れることで、自分自身の引き出しを増やしていきたいと思っています。

働き方も、生き方も、一つの正解があるわけではありません。だからこそ、自分のペースで、自分らしく。これまでの経験を大切にしながら、これからの時間をより豊かなものにしていきたいと考えています。

同じように転機を迎えている方、これから迎える方も多いと思います。それぞれの立場で、それぞれの「これから」を大切にしていけたらと思います。

令和8年度 第1回 臨床生理部門 Web 型研修会

生涯教育研修・一般教育研修課程：専門教科 20 点

行事コード【260000592】

テーマ	「はじめての学会発表・症例報告 完全攻略！ ～『何から始めればいいのか』を1時間で解決～」
開催日時	2026年6月6日（土） 15時00分 ～ 16時00分
会場	Web会場（Zoom）
内容	<p>「学会発表を頼まれたけど、何から手をつければいいのか分からない...」 「自分のデータのまとめ方は、これで合っているの？」 「当日の質疑応答が怖くて一步踏み出せない...」 そんな悩みを持つ臨床検査技師のあなたへ。本勉強会では学会発表の準備で初心者がまず知っておくべきポイントを1時間に凝縮してお伝えします！</p> <p>◆ こんな方におすすめ 近いうちに初めての学会発表を控えている方 症例報告をまとめたいけれど、自信がない方 後輩の指導にあたる中堅技師の方（教え方の参考に！）</p> <p style="text-align: right;">講師：静岡県立総合病院 久住裕俊 技師</p>
備考	<p>開始時刻5分前には Webex 招待メール本文中の「ミーティングに参加する」をクリックして Web 会場に入場してください。</p> <p>入場時には、マイクをミュート、カメラをオフをお願いします。</p>
申込・振込期間	2026年2月28日 ～ 2026年5月29日
申込定員	180名
申込方法	<p>1) メネルジアシステムへログインして事前参加登録をお願いします。 ※ メネルジアにログインし新規登録を行ってください。 ※ 操作方法については静臨技 HP をご参照ください。</p> <p>2) 下記イベント URL から参加申し込みを行ってください。</p> <p>3) 受講料の入金確認後、Webex 招待メールを送信します。 ※ 振込後は返金対応できませんのでご注意ください。</p>
イベント URL	<p>https://event.menergia.jp/events/01KHSJA7HF0TCB2R7SBST381BE (イベント URL は申込期間中のみ開示が有効です)</p>
受講料	静臨技会員・日臨技会員 1,000 円 / 賛助会員 1,000 円 / 非会員 2,000 円
問い合わせ先	<p>臨床生理部門 部門長 鈴木駿輔（静岡県立総合病院） TEL：054-247-6111 E-mail：shun0719s@gmail.com ※参加証明書の発行を希望される方は、研修会終了後1ヶ月以内にご連絡ください。</p>
主催	一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会

令和8年度 第13回 静岡県医学検査学会

生涯教育研修・一般教育研修課程：専門教科 20 点

行事コード【260003113】

テーマ	「学びを力に、力を自信に！」
開催日時	2026年6月13日（土） 13時00分 ～ 19時30分
会場	あざれあ 大ホール(静岡県男女共同参画センター) 静岡市駿河区馬淵1丁目17-1
内容	<p>第一部（大ホール）</p> <p>13：00～13：10 開会式</p> <p>13：10～14：10 一般演題 ≪第Ⅰ群≫ 6演題</p> <p>14：15～15：25 一般演題 ≪第Ⅱ群≫ 7演題</p> <p>15：30～16：30 一般演題 ≪第Ⅲ群≫ 6演題</p> <p>16：35～17：35 共催セミナー</p> <p>講演Ⅰ：肝炎医療コーディネーター/臨床検査技師による院内からの肝炎克服の取り組みについて（案）</p> <p>講演Ⅱ：静岡県の肝疾患に対する取り組みと課題 ウイルス性肝炎拾い上げにおける臨床検査技師への期待（案）</p> <p>17：35～17：45 閉会式（わかふじ賞授与式）</p> <p>第二部（小ホール）</p> <p>18：00～19：30 意見交換会</p>
備考	*意見交換会希望の方は学会と意見交換会両方に申込をお願いします。
申込・振込期間	2026年5月1日 ～ 2026年5月31日
申込定員	学 会：300名 意見交換会：70名（静臨技会員・賛助会員）
申込方法	1) メネルジアにログインし新規登録を行って下さい。 2) 下記イベント URL から参加申し込みを行って下さい。 ※ 振込後は返金対応できませんのでご注意ください。
イベント URL	学 会： https://event.menergia.jp/events/01KPMM2SG51PWMY0V94VRXZGX1 意見交換会： https://event.menergia.jp/events/01KPMM4TGJ488NW6Q5AQCFTMTB (イベントURLは申込期間中のみ開示有効です)
受講料	学会：静臨技会員・日臨技会員 1,000円／賛助会員 1,000円／非会員 2,000円 意見交換会：一律 3,000円
問い合わせ先	第13回静岡県医学検査学会 実行委員長 岩崎佐知子（富士市立中央病院） TEL：0545-52-1131（内線：3040） E-mail： iwazaki_sachiko@sa.city.fuji.shizuoka.jp
主催	一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会

令和8年度 日臨技中部圏支部研修会

「臨床血液部門研修会」開催案内

主催（一社）日本臨床衛生検査技師会 中部圏支部
実務担当技師会：静岡県臨床衛生検査技師会

【テーマ】 認定技師を目指して～形態の見方・考え方～

【日時】 令和8年6月27日（土）12：30～17：40 28日（日）9：10～12：30

※日臨技定時総会と日程が重なっているので、参加される方は事前に議決権行使をお済ませください。

【場所】 静岡県産業経済会館 大会議室（静岡市）：静岡市葵区追手町 44-1

【定員】 120名（現地参加120名）

【募集期間】 令和8年3月1日～令和8年5月31日

（定員になり次第、受付終了となります）

【日程】

≪1日目≫ 6月27日（土）

11：30～12：30 受付（会場内で飲食できますが、ゴミは持ち帰り）

12：30～開会式

12：40～講演1『臨床に直結！見つけると役立つ、見逃すと困る血液検査所見（形態編）』

講師：金沢医科大学病院 中央臨床検査部 大川 有希 技師

14：00～講演2『変遷する国際分類の中で…MDSの異形成の捉え方』

講師：川崎医療福祉大学 臨床検査学科 通山 薫 医師

15：50～講演3『症例検討』

講師：聖マリアンナ医科大学 ゲノムセンター 井本 清美 技師

1. グループワーク（30分）※ 事前症例の初診時基本データ配布

（グループで、必要な追加検査・確定診断に必要な事はどんな事があるか話し合う）

2. 症例解説 ※ 事前症例の初診時基本データ配布

17：40 1日目 終了の挨拶と2日目の予定（二日目は、受付はしません）

≪2日目≫

9:10 ~ 講演4『形態学からせまる血液疾患の基礎と考え方 ~ 骨髓編 ~』

講師：獨協医科大学 臨床検査センター 新保 敬 技師

11:00 ~ 講演5 『血液形態・検査のピットフォール』

講師：愛知医科大学 血液内科 高見 昭良 医師

12:30 ~ 閉会式

【申込方法】 日臨技会員：日臨技 HP の JAMT 会員専用ページから事前参加登録
非会員：下記研修会事務局にメール連絡

【受講料】 日臨技会員 9,000 円 非会員 14,000 円

【受講料のお振込み】

日臨技会員：事前参加申込時にクレジットカード決済

非会員：下記研修会事務局へお問い合わせください。

【宿泊】 参加者各自で手配をお願いします。

【会場へのアクセス】



研修会事務局

〒422-8527

静岡市駿河区小鹿1-1-1

TEL : 054-285-6171

FAX : 054-285-5179

静岡済生会総合病院

谷渕 将規

Email :

m176516@siz.saiseikai.or.jp

2026年5～7月の行事予定

2026年

5月

- | | | |
|---------|-----------------------|------------------|
| 9日(土) | 第1回輸血細胞治療部門研修会 | : Web |
| 12日(火) | 静岡県臨床検査精度管理調査試料 梱包・発送 | : 中北薬品 |
| 13日(水) | 静岡県臨床検査精度管理調査 | |
| ～29日(金) | | |
| 22日(金) | 第1回理事会 | : 静臨技事務所 |
| 23日(土) | 第1回臨床血液部門研修会 | : 静岡産業経済会館 + Web |

6月

- | | | |
|--------|---------------|--------|
| 6日(土) | 第1回臨床生理部門研修会 | : Web |
| 13日(土) | 令和8年度静臨技定時総会 | : Web |
| | 第2回理事会 | : あざれあ |
| | 第13回静岡県医学検査学会 | : あざれあ |
| | 静臨技意見交換会 | : あざれあ |

7月

☆ 会員投稿募集 ☆

技師会では会員の皆様の原稿を募集しています。ジャンル等は問いません。

※採用された方には粗品を進呈いたします。

ご意見・ご要望・情報等もお待ちしております。

渉外広報部（編集責任者）高橋詩帆まで。E-mail : kensaka.kna@shizuokakouseiren.jp

☆ 求人情報 ☆

（一社）静岡県臨床衛生検査技師会では、ホームページに求人情報の掲載を行っています。

求人情報掲載の申し込み方法等のお問い合わせ先

〒438-8550 磐田市大久保 512-3 磐田市立総合病院 久留島幸路まで。

E-mail : osigoto@samt.or.jp

TEL : 0538-38-5000

情報変更の手続き等について

新入会登録や、会員情報・登録施設情報（名称・連絡先）に変更がある場合、日臨技へ申請をお願いします。（日臨技HP；入会・退会・会員情報の変更参照）

責任者・連絡責任者・施設連絡用E-mailアドレスを登録・変更する場合、静臨技事務所へ連絡をお願いします。（静臨技HP；各種申請書を参照）

静臨技賛助会員入会申請 や、賛助会員情報（担当者・連絡先）に変更がある場合、静臨技事務所へ連絡をお願いします。（静臨技HP；賛助会員のご紹介ページの賛助会員登録申請書を参照）

お問い合わせ先：（一社）日本臨床衛生検査技師会 <http://www.jamt.or.jp/>

（一社）静岡県臨床衛生検査技師会（担当：組織部）

TEL : 054-287-6337 FAX : 054-287-4113 E-mail : samtjim@samt.or.jp

編集後記

皆さま、お疲れさまです。

現在、4月末。日中は20℃前後と過ごしやすい季節になりました。

ただ、自称ガーデナーとしては、どうも教科書より一歩先を進んでいるような感覚があります。温暖な伊豆だからでしょうか。原種シクラメンはすでに休眠に入り、ランタンキュラスやハナカンザシも花が終わり気味…。梅雨前にもかかわらず、草花たちは次の季節へ向かっているようです。水管理の問題かとも思いましたが、これまで気づかなかった変化に目が向くようになったのだと、前向きに捉えています。日常の中でも、意識して「フォーカス」を当てることの大切さを感じるこの頃です。

さて、もう5月。静臨技の節目である定時総会、そして静岡県医学検査学会もいよいよ大詰めです。今回は19演題に加え、意見交換会も企画しており、充実した内容となりそうです。多くの会員の皆さまにご参加いただければ、大きな成果につながると思います。ぜひともよろしく願いいたします。

高橋

2026年5月吉日